

テーマ：“神様に喜ばれる教会”とは一体どのような姿をしているのか？

●殉教したジェローム・ラッセルとアレクサンダー・ケネディ：

「兄弟よ、恐れるな。私たちのうちにおられる方は、この世にいる者より偉大なお方です。これから受ける痛みはあっという間で、軽いものです。しかし、私たちの喜びと慰めには終わりがありません。だからこそ、主人であり救い主である方が私たちの前を歩まれたのと同じ真っ直ぐな道を通して、この方の喜びの中に入るよう努め励もうではありませんか。死は私たちを傷つけることはできません。死はもう既に主によって滅ぼされたのです。この方のために私たちは今から苦しみを味わうのです。」

○神様に喜ばれる教会に見られる三つの特徴(4-8)：

1. キリスト・イエスに対する信仰(4a)
2. 全ての聖徒に対する愛(4b, 8)
3. _____(5)

「希望はクリスチャン生活に安定を与えるので、たましいの錨とも呼ばれています(へブル 6:19)。希望とはこうなればいいなという単なる『願い』ではなく、将来に関する神様の約束の確実性にすぎることなのです。」(RC スプロール)

※1 ペテロ 1:3-4

「たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようになさってくださいました。また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。」

※ローマ 8:18

「今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。」

※2 コリント 4:17-18

「今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」

「私たちの世代、また全ての世代にとって重要な問いは次のようなものです。もし、あなたが病気や人との争い、自然災害のない、また地上で出会った全ての友人、好きだった全ての食べ物、楽しんだ全ての娯楽、目にした全ての自然の美しさ、味わった全ての快樂が揃っている、そんな天国を手にしたとして、もしそこにキリストがいないとすれば、あなたはその天国に満足することができるでしょうか？」(ジョン・パイパー)

※1 ヨハネ 3:2-3

「愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。キリストに対するこの望みをいただく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。」

※ヘブル 9:27

「そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、」

※ローマ 2:5-6

「ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現れる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。神は、ひとりひとりに、その人の行いに従って報いをお与えになります。」

※1 ヨハネ 4:10

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」